第 268 回競技委員会議事録

1. 日　　時：2020 年 11 月 4 日（水）18 時 00 分～ 21 時 00 分
2. 会　　場：連盟本部事務局
3. 出席委員：

競技委員会：委員総数 14、定足数 10、出席 14（内委任状 3）で成立。
寺本直志委員長、ロバート・ゲラー、斉藤千鶴乃、山後秀幸、桜井雅子、
久富健史、吉田正、浅越ことみ、正村祐一
Zoom で出席：山田和彦競技会事業担当業務執行理事、石橋瑞己
委任状：佐々部君敏、林伸之、仲村篤志
オブザーバー：貴戸祥郎

4. 議事の経過及び結果：寺本直志委員長を議長に議事を逐一審議した。

第 1 号議案　コンベンション・アラートに関する WG からの報告

コンベンション・アラートに関する WG より次の変更案が提出され審議した。

(1)「スーツオープンに対するレスポンス」の「アラート必要」欄に以下を追加すること
『ナチュラルな１の代のスーツのオープンに対するシングルレイズがフォーシングの場合』
審議の結果、これを承認した。

(2)「オープナーのリビッド」の「アラート必要」欄に以下を追加すること
『１ＮＴリビッド又は２レベルへのレイズが強いハンド（16 ＨＣＰ以上）の可能性がある場合、又は１ＮＴリビッドがメジャースーツをバイパスしている可能性がある場合』
審議の結果、これを承認した。

(3)アラートの要不要の事例に以下を追加すること
１ＮＴ－（Ｐ）－３♣＝５枚メジャーアスク
審議の結果、これがアラート必要であることを事例に追加することとした。

(4)強い２♣オープンの定義(2)(3)の『メジャーで４、マイナーで３ルーザー以内のハンド』を『４ルーザー以内のハンド』に変更すること
ソリッド 7 枚マイナーと 2A のハンドで 2 ♣オープン可能にするための変更である。審議の結果、これによりオープン可能になる他のハンドに、そうなるべきでないハンドが含まれるのではないかという意見があり、WG で詳細なハンドと条件を検討することとした。

(5)ウィーク２に対するインビテーションの強さを保証しない２ＮＴはリストＣ以下で使用を禁止すること
継続検討することとした。

第 2 号議案　WBF システムポリシーの改訂

吉田委員より、最新の WBF システムポリシーが和訳して提出された。変更内容の説明があり、これをホームページ及び HANDBOOK に掲載することとした。

第 3 号議案　玉川髙島屋 S･C 杯に対する提案

桜井委員より玉川髙島屋 S･C 杯の参加チーム減少を食い止めるため、次のような試合形式の変更が提案された。

・マスターポイントによりカテゴリー分けして募集する
・1 ラウンドのボード数を減らし、ラウンド数を増やす

審議により次のような意見も出た。
・フライト分けする際に上位フライトの方を少なく分ける
審議の結果、コロナの影響によりチーム数が少なくなることが予想される 2021 年は現状通りとし、その参加傾向も踏まえ継続検討していくこととした。

第 4 号議案　少ないテーブル数のペア戦の運営について事務局からの報告
事務局より、全日本女子ペア選手権において総当たりに加え再戦が多いムーブメントを使用した結果不評であった旨、及びそれを踏まえて高松宮妃記念杯でテーブル毎にボード数を見直して開催したことの報告があった。
少ないテーブル数の場合は予選通過者数を調整して決勝で総当たりに優れているテーブル数すべきという意見があった。その場合予選通過者数の規則を変更する必要があることから、競技会運営規則・試合要項に関するワーキンググループで詳細を検討することとした。
また外務大臣杯について、事前エントリーにすべきではないかという意見があり、事務局で検討することとした。

第 5 号議案　その他議案
クラブリーグ要項において、日本リーグやクラブリーグで辞退チームがあった場合の昇格チームの優先順、辞退した場合の扱いを次のように明文化する案の提出があった。
・昇格チーム数の最も少ないリーグを優先する
・それが同じ場合、MaxVP に対する VP の高いチームを優先する
審議の結果内容を承認し、文章をよりわかりやすく書き直すこととした。
また、コロナの影響もあり今後日本リーグ・クラブリーグを合わせた制度の見直しが必要であるという意見があった。

次回競技委員会は 2020 年 1 月 6 日（水）18 時 00 分からの開催を予定する。

以　上